

メッセージ

核兵器のない平和で公正な世界を実現するため、草の根レベルでの国際的な共同を発展させ、大きな世論を築く大会として開催されている「原水爆禁止2019年世界大会」のご盛會を心からお祝い申し上げます。

皆様方が日頃より、核兵器廃絶と世界平和の実現を目指し、熱心に活動を積み重ねておられることに対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

昭和20年8月、人類史上初めて広島、長崎へ原爆が投下され、数多くの方々が傷つき尊い多くの命が奪われたことは筆舌に尽くしがたいほど悲しく痛ましい出来事でありました。その日から74年目の年を迎えましたが、今なお、被爆による後遺症に苦しんでいる方々のことを思いますと、とめどなく悲痛な思いがこみ上げてきます。

核兵器のない平和な世界の実現は全人類共通の願いであります。ところがこうした願いに反し、昨年10月及び今年5月に、アメリカ合衆国が臨界前核実験を実施したとの報道を受けました。こうした姿勢は、新たな核拡散を引き起こすことを強く危惧させるものであり、本市も非核平和宣言都市として、アメリカ合衆国に対し一切の核実験及び核開発に繋がる全ての行為を行わないよう、強く求める抗議をそれぞれ直ちに行ったところです。

本市におきましては、昭和58年に「非核平和都市宣言」を行い、この間、平和と人権を市政の重要な柱の一つとして位置づけまして、市民一人ひとりが平和を愛し、悲惨な戦争が二度と繰り返されることのないよう、「平和展」をはじめとする様々な施策に取り組んでまいりました。

また、全国規模で組織いたします「日本非核宣言自治体協議会」及び「平和首長会議」に加盟し、他の都市と連携しながら、平和への取組を進めております。

今後とも、他の都市との連携を更に深めながら、世界恒久平和の実現に向けまして、市民の皆様と共に平和の大切さをより一層訴えてまいり所存でございます。

結びとなりますが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

令和元年8月

高槻市長 濱田 剛史

